広報 二所ノ関

第十九号

三月場所結果

前相撲		序ノ口		序二段						三段目						幕下		幕内	
		東17	東7	東86	東82	西80	西33	西27	西10	東61	西38	西36	東29	西22	西4	東44	東23	西17	東大関
住吉	内間	西勢郷	山田	総勢山	足立	澁谷	阿見大心	谷口	貴正道	今村	羅漢児	藤宗	古田	林龍	麟虎	麒麟龍	花の海	白熊	大の里
		3-4	2-5	4-3	2-5	3-4	2-5	5-2	4-3	4-3	4-3	1-6	5-2	2-5	2-5	3-4	5-2	5-10	優勝 12-3

五月場所新番付

前相撲	序ノ口				序二段				三段目								幕下		十両	幕内
																				大関
田中	住吉	内間	山田	西勢郷	足立	澁谷	総勢山	阿見大心	谷口	貴正道	藤宗	林龍	今村	麟虎	羅漢児	古田	麒麟龍	花の海	白熊	大の里

※ 編集段階では、番付発表前のため空欄となっています。
町ホームページ「二所ノ関のへや」で新番付をお知らせしています。

大の里３回目の天皇賜盃！綱取りへ！！

大の里が接戦を制して 12 勝、3 度目の優勝を決めた。大関昇進後、振るわない成績が続いたが、先場所後から稽古量を倍増。今場所はなにがなんでもやる、という決意が稽古場から溢れており、活躍は充分予想できた。初日から順調に白星を重ねてきたが、13 日目に惨敗。優勝は厳しいかというムードになったが、14 日目、千秋楽、決定戦と素晴らしい相撲で優勝を手繰り寄せた。ラスト 3 日間で大きく戦局が変わり、まさに「1 日 1 番」ここに集中することがいかに大事かを考えさせられた優勝だった。いよいよ来場所は綱取り。部屋創設時、師匠が掲げた「茨城から横綱を」の夢と目標の実現まであと一歩である。

新弟子の田中くん入門

田中　壮来　（たなか　そら）
熊本県阿蘇市出身。19 歳。日本大学附属目黒高等学校出身。
身長 175cm 体重 140kg
大阪から部屋に合流して稽古に励んでいます。応援よろしくお願いいたします。

二所ノ関親方の総評コーナー！

お陰様で大の里が優勝できました。大関になってからの 2 場所はパッとせず、稽古不足を懇々と話合いました。1 月場所後から自覚を持った稽古をしており、大勝ちの雰囲気が場所前から漂っていました。12 勝は物足りませんが、ハイレベルで優勝する為に今の倍稽古しないといけません。白熊も大の里のように目覚めた稽古をしないとレベルアップはないでしょう。花の海が良い相撲を取りました。大の里の稽古相手として一緒に稽古した成果です。大の里が稽古で若手を引き上げる、本来の相撲部屋の形になりました。その為にも大の里は部屋で 1 番稽古しなければなりません。もう一踏ん張りで関取、がむしゃらにやるしかない。2 人の新弟子が大阪からデビューしました。沖縄出身の内間は高校相撲出身の力士にも勝って連勝出世。愛知出身の住吉は中学から千葉県柏市に相撲留学、気持ちの強い力士です。2 人に共通するのはまだ子供の身体。基礎をしっかり稽古して、焦らずに身体作りをしないとなりません。5 月入門の田中との出会いは中学 2 年生の時から。声をかけ続けて遂に入門してくれました。非常に真面目でコツコツ稽古します。育った熊本に錦を飾る力士になってほしいです。それぞれの課題を持って力士達は全員良く頑張っています。今場所も応援のほどよろしくお願いいたします。

花の海が弓取り式で活躍、相撲も５勝で上位躍進

花の海が大阪場所 15 日間で弓取り式の大役を果たした。番付最上位の力士所属部屋から担当するのが慣例、花の海に白羽の矢が立った。最近はベテラン力士が務める傾向であったが、次の関取候補の若手が務めるのが本来の形。大観衆の前での大役は相撲にも活きるはずという師匠の思惑はズバリと当たり、土俵でも会心の押し相撲で 5 勝。5 月は幕下上位に進出する。人一倍真面目に稽古をする花の海。部屋から 3 人目の関取に向けて、厳しい稽古を積んで臨む。

古田、羅漢児が最高位で勝ち越し、幕下目前

1 月の好成績で自己最高位になった古田と羅漢児。3 月は更に最高位を更新し、幕下昇進に挑戦する。古田は軽量故の技術相撲だったが、真っ向勝負の押しも磨いて鋭さが増した。体重増加が 1 番の課題、更に押しを磨けば幕下昇進は堅い。羅漢児は右上手を取れば力が出ることが自分でもわかってきた。更に立ち合い厳しく、前に出る相撲になれば楽しみな存在である。他の上位力士は振るわなかったが、この 2 人に負けないように燃えて稽古に励んでもらいたい。

大阪場所、ご当所の兵庫出身力士が活躍

二所ノ関部屋所属で最も出身力士が多い兵庫県。3 月は大阪場所、ご当所で 3 人の兵庫出身力士が全員勝ち越し。貴正道と今村は同じ高校の先輩後輩。同校からは新十両が誕生しており、母校の校章化粧廻しを見て 2 人も続けと燃えている。更に谷口と今村は同地域の同級生。小学生の頃からわんぱく相撲で決勝戦を争った 2 人。大相撲の世界でもどちらが先に関取になるかの争いに地元では熱視線が送られている。

３月デビューの新弟子２人が無事に出世

内間と住吉が前相撲から無事に出世。5 月から番付に載り、いよいよ力士としてスタートする。茨城に戻ってからは毎日始発電車で国技館の相撲教習所まで通う日々。毎日学びを得ながら力士になる修行を積んでいる。

隔月で二所ノ関部屋の最新情報をお知らせしています